

卒業50周年で母校へ寄付

上田高
64期生

右から内堀校長、平野会長、金子さん、久保田さん



同窓会館に飾られたパネルと日置理事長(右)

上田市大手の上田高等学校(内堀繁利校長)でこのほど、同校64期卒業生の代表者らによ

金子哲也さん、代議員の久保田昌人さんが同校を訪れ「生徒支援のために有効活用してほ

る卒業50周年記念の寄付の贈呈が行われた。64期会長の平野仁一さん、代表議員の

を述べた。

「しい」と同母校にエールを送った。ほかに同会から同校の同窓会館へ「上田城御屋形復元パネル」を寄贈。平野会長が同校同窓会の日置勇二理事長に目録を贈呈した。同校構内の上田城主の居館の跡で、門がそのまま校門として残されていることから、平面地図をもとにコンピュータグラフィックを用いた当時の全姿を再現しようとした。東京で出版業を営む同会員の清水淳郎さんが考案した。パネルサイズは縦70cm、横140cm。

金子さん(68)は「自分たちが2学年の時、東京オリピックが開催され、高校でカラーテレビを見たのは楽しい思い出。女学生の数も1割以下で少なかつた。これから大変な時代を迎える。生徒に人生や進路をしっかりと考えて進んでほしい」と

日置理事長は「先生にも生徒にも見てもらい歴史や母校への思いを深めてほしい」と同窓会館へ関係者の来館を呼びかけた。同窓会館受付で希望すれば一般の見学も可。

上田高校OB64期会が

生徒支援金と
上田藩主屋敷CGを
寄贈

卒業50年記念し

上田高校64期会(平野仁一会長)が卒業50年を記念して先ごろ、母校に生徒支援金を寄贈。同校同窓会には母校の前身、上田藩主屋敷を俯瞰図として復元制作したCGを寄贈しました。

同64期会では昭和41年(1966)3月卒業から



半世紀経ったことを記念して昨秋から募金を呼びかけ、文科省のSGH(グローバルハイスクール)指定校であることなどによる活動に

役立ててほしいと生徒支援金70万円を寄贈。また同校同窓会に寄贈した上田藩主屋敷の復元CG図は、64期会の清水淳郎さんが経営する会社が「御屋形古図」などを参考に制作したものである。

支援金を内堀繁利校長に手渡した平野会長と金子哲也代表議員らは、「真田丸」効果もあるのか同窓生の反応はよかった」と報告

し、「SGHの海外ステディーツアーなどは生徒負担が大きく、大変ありがたい」と内堀校長。同窓会の日置勇二理事長は「母校は上田藩主屋敷跡に建ち、正門とお堀は文化財となっているが、かつての姿を想像するのは難しかった。真田丸」人気が卒業生からの問い合わせも増えている折、素晴らしいものをお願いしたい」と話していました。